

報伝達機構の分子薬理学的研究。第6回ヒスタミンレセプター研究会, 1986, 7, 京都。

13) 加藤憲一, 北村佳久, 金子周司, 野村靖幸: ラット脳 mRNA により *Xenopus* 卵母細胞に発現したアセチルコリンおよびセロトニン反応: GTP 結合蛋白の発現と関与。第37回日本薬理学会北部会, 1986, 8, 札幌。

14) 関原俊一, 渡邊裕司, 野村靖幸: 無拘束ラットの線条体内透析法によるドーパミンおよび代謝産物の測定。第37回日本薬理学会北部会, 1986, 8, 札幌。

15) 野村靖幸, 金子周司, 北村佳久, 東田道久, 難波恒雄, 服部征雄, 葉加南: 杜仲葉水抽出画分のラット脳および心臓レセプター, アデニル酸シクラーゼ系への作用。第3回和漢医薬学会, 1986, 8, 東京。

16) 木村正康, 鈴木潤, 三浦圭子, 渡邊裕司: 麝香成分 muscone の鎮静作用。第3回和漢医薬学会, 1986, 8, 東京。

17) 東田道久, 古川留里, 野村靖幸: 各種生薬熱水抽出画分の培養 NG108—15細胞のアデニル酸シクラーゼ系への作用。第3回和漢医薬学会, 1986, 8, 東京。

18) 渡邊裕司, 関原俊一, 野村靖幸: 無拘束ラットの線条体内透析法を利用した methamphetamine によるドーパミン遊離作用の解析。第16回日本神経精神薬理学会, 1986, 9, 久留米。

19) 葉加南, 馬永華, 服部征雄, 難波恒雄, 野村靖幸, 倉茂洋一: 杜仲葉エキスを長期投与のラット肝組織への影響。第33回日本生薬学会, 1986, 10, 埼玉。

20) 北村佳久, 野村靖幸: 中枢アドレノセプター・G蛋白の脱共役—N—エチルマレイミドの効果。第29回日本神経化学会, 1986, 10, 岡山。

21) 東田道久, 野村靖幸: 培養 NG108—15細胞の分化と増殖: アデニル酸シクラーゼ系およびプロテインキナーゼC活性化薬の影響。第29回日本神経化学会, 1986, 10, 岡山。

22) 野村靖幸, 瀬川富朗: 脳シグナル受容伝達系機能とエージング。第15回薬物活性シンポジウム, 1986, 11, 米子。

23) 齋尚斌, 北村佳久, 野村靖幸: β レセプター・Ns・アデニル酸シクラーゼ系刺激によるラット脳切片からのノルアドレナリン遊離と老化。第70回日本薬理学会近畿部会, 1986, 11, 京都。

24) 野村靖幸: 細胞の刺激応答機構と加齢。日本学術会議生物系薬学連絡委員会主催「情報伝達と細

胞応答—最近の話題に関するシンポジウム」, 1986, 11, 広島。

25) 野村靖幸: 脳情報伝達—遺伝子移入再構成系による解析。文部省科研費総合(B)班主催「トランスメンブレンコントロール」, 1986, 12, 東京。

臨 床 利 用

教 授 大 浦 彦 吉
助 教 授 日 合 奨
助 手 横 澤 隆 子
助 手 長 沢 哲 郎

◆ 原 著

1) Yokozawa T., Zheng P. D., Oura H. and Koizumi F.: Animal model of adenine-induced chronic renal failure in rats. *Nephron* **44**: 230—234, 1986.

2) Yokozawa T., Chung H. Y. and Oura H.: Effect of extract from *Salviae Miltiorrhizae Radix* on the urinary urea, creatinine, and electrolyte excretion in uremic rats. *J. Med. Pharm. Soc. for WAKAN-YAKU* **3**: 10—15, 1986.

3) 鄭 平東, 横澤隆子, 大浦彦吉, 中田瑛浩: 慢性腎不全ラットの腎組織血流量, 血圧, 並びにホルモンに対する温脾湯の効果。和漢医薬学会誌 **3**: 37—44, 1986.

4) 鄭 平東, 横澤隆子, 大浦彦吉: 慢性腎不全ラットの腎外性ホルモンに対する温脾湯の効果。和漢医薬学会誌 **3**: 65—70, 1986.

5) Chung H. Y., Yokozawa T. and Oura H.: Effect of extract from *Salviae Miltiorrhizae Radix* on uremic rats. *Chem. Pharm. Bull.* **34**: 3818—3822, 1986.

6) Yokozawa T., Miyakawa S., Oura H., Kaneko K. and Nishioka I.: Effect of extract from *Rhei Rhizoma* on dietary hyperazotemia in rats. *Chem. Pharm. Bull.* **34**: 4233—4237, 1986.

7) 鄭 平東, 横澤隆子, 大浦彦吉: 慢性腎不全ラットに対する温脾湯の効果 —腎不全惹起後の影響について—。和漢医薬学会誌 **3**: 83—88, 1986.

8) Yokozawa T., Zheng P. D., Chung H. Y., Fukumoto J. and Oura H.: Effect of red ginseng powder in rats with chronic renal failure. *J. Med. Pharm. Soc. for WAKAN-YAKU* **3**: 136—142, 1986.

9) Yokozawa T., Suzuki N., Oura H., Nona-

ka G. and Nishioka I. : Effect of extracts obtained from rhubarb in rats with chronic renal failure. Chem. Pharm. Bull. **34**: 4718—4723, 1986.

10) Yokozawa T. and Oura H. : Contents of free adenine in soybeans from several countries. Agric. Biol. Chem. **50**: 1317—1319, 1986.

11) Yokozawa T., Zheng P. D., Mo Z. L. and Oura H. : The effect of Onpi-tô on urinary excretion of methylguanidine in rats with chronic renal failure. J. Med. Pharm. Soc. for WAKAN-YAKU **3** : 198—201, 1986.

12) Nagasawa T., Oura H., Nonaka G. and Nishioka I. : Effect of rhatannin on glutamine metabolism in rat liver. Chem. Pharm. Bull. **34**: 2937—2943, 1986.

13) Hiai S. and Yokoyama H. : Chronic effect of saikosaponin on adrenal and thymus growth in normal and dexamethasone-treated rats. Chem. Pharm. Bull. **34**: 1195—1202, 1986.

◆ 総 説

1) 横澤隆子：尿毒症に対する大黃の改善作用とその機序. Pharma Medica 新春増刊号：73—92, 1986.

2) 大浦彦吉：尿毒症と和漢薬. 腎と透析 20：337—345, 1986.

◆ 学会報告

1) 三瀧忠道, 横澤隆子, 鈴木奈緒美, 寺澤捷年, 大浦彦吉：慢性腎不全に対する中国産大黃の治療経験. 第23回日本臨床代謝学会総会, 1986, 2, 福岡.

2) 横澤隆子：大黃による腎不全モデル動物の methylguanidine 産生抑制. 第6回和漢薬研究所特別セミナー, 1986, 3, 富山.

3) 鄭 海泳, 横澤隆子, 大浦彦吉：慢性腎不全ラットに対する丹参の尿毒症改善作用. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

4) 鄭 平東, 鈴木奈緒美, 横澤隆子, 大浦彦吉：慢性腎不全ラットに対する漢方方剂温脾湯の効果—その3 腎不全惹起後の影響について—. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

5) 横澤隆子, 鄭 平東, 大浦彦吉：慢性腎不全ラットに対する漢方方剂温脾湯の効果—その4 ホルモン動態並びに腎組織血流量に対する影響について—. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

6) 日合 奨：サイコサポニン前処置による糖代謝の変調. 日本薬学会第106年会, 1986, 4, 千葉.

7) 横澤隆子, 鄭 海泳, 大浦彦吉, 野中源一郎, 西岡五夫：慢性腎不全ラットに対する丹参の尿毒症

改善作用. 第6回天然薬物の開発と応用に関するシンポジウム, 1986, 7, 名古屋.

8) 横澤隆子, 宮川修治, 大浦彦吉, 金子 光, 西岡五夫：食餌性高 BUN 血症に及ぼす大黃の影響. 第3回和漢医薬学会学術総会, 1986, 8, 東京.

9) 鄭 海泳, 横澤隆子, 大浦彦吉：アデニン誘発慢性腎不全ラットに対する丹参の効果 その3. 第3回和漢医薬学会学術総会, 1986, 8, 東京.

10) 長沢哲郎, 大浦彦吉, 野中源一郎, 西岡五夫：大黃成分 Rhatannin の glutamine transamination に対する促進作用機構について. 第59回日本生化学会大会, 1986, 9, 西宮.

11) 大浦彦吉：大黃の生理生化学. 第1回伊藤セミナー札幌, 1986, 10, 札幌.

12) 横澤隆子, 大浦彦吉, 野中源一郎, 西岡五夫：大黃の尿毒症改善作用. 第1回伊藤セミナー札幌, 1986, 10, 札幌.

13) 長沢哲郎, 大浦彦吉, 野中源一郎, 西岡五夫：大黃成分 Rhatannin のアミノ酸代謝に対する作用. 第1回伊藤セミナー札幌, 1986, 10, 札幌.

14) 日合 奨, 柴田承二：グリチルリチン・グリチルレン酸・デオクソグリチレトールの下垂体副腎皮質系への作用. 日本生薬学会, 1986, 10, 埼玉.

15) 三瀧忠道, 寺澤捷年, 横澤隆子, 大浦彦吉：大黃並びに大黃含有漢方方剂による慢性腎不全の治療経験—尿中排泄成分について—. 第29回日本腎臓学会総会, 1986, 11, 東京.

病態生化学部門

教授 荻 田 善 一
助教授 中 島 松 一
助手 丸 山 由紀子
文部技官 林 和 子

◆ 著 書

1) 荻田善一編：「形質転換動物とその応用」, 細胞工学 **5**, 秀潤社, 1986.

◆ 総 説

1) 荻田善一：形質転換動物 (transgenic animal). 「形質転換動物とその応用」荻田善一編, 細胞工学 **5**, 13—14, 秀潤社, 1986.

◆ 原 著

1) Shibata F. and Ogita Z: Epigenetic modification of murine Cu, Zn-superoxide dismutase : Electrophoresis **7**: 426—428, 1986.

2) Tojo H., Momoi K., Fukumaki Y. and